

科目名称:特別支援教育概論					
担当者名:三宅 右久					
科目群(区分)	開講予定時期	授業形態	必修・選択	単位数	卒業認定・学位授与の方針との関連
教職	4年前期	講義	自由	2	自由科目につき該当なし(自由科目につき該当なし)
アクティブ・ラーニング実施の有無	実施有り		ナンバリング		16302031
授業概要:障害とは何かを理解することから始め、特別支援教育の歴史と制度、障害の種類と程度に応じた教育の基本を学ぶ。また、特別支援教育の教育課程や支援の方法についても学ぶとともに、障害はないが特別の教育的ニーズのある幼児、児童及び生徒の把握や支援についても学習する。					
到達目標:特別な支援が必要な幼児、児童及び生徒の障害の特性、心身の発達、さらにその教育課程及び支援の方法を理解する。また、障害はないが特別な教育的ニーズのある幼児、児童及び生徒の把握や支援について理解する。					
授業計画			準備学習とその所要時間(分)		
第1回 障害の概念・障害と人権			事前:障害児・者に関するニュースを調べる(30) 事後:障害者の人権についてまとめる(60)		
第2回 特別支援教育の歴史と制度			事前:県内の特別支援学校について調べる(30) 事後:特別支援教育の歴史についてまとめる(60)		
第3回 特別支援教育の教育課程			事前:特別支援学校の教育課程について調べる(40) 事後:知的障害教育に特徴的な指導の形態についてまとめる(60)		
第4回 障害の理解と支援(1)視覚障害、聴覚障害			事前:視覚障害、聴覚障害について調べる(30) 事後:盲学校、ろう学校の教育についてまとめる(60)		
第5回 障害の理解と支援(2)肢体不自由、病弱			事前:肢体不自由、病弱について調べる(30) 事後:肢体不自由特別支援学校、病弱特別支援学校の教育についてまとめる(60)		
第6回 障害の理解と支援(3)知的障害			事前:知的障害について調べる(40) 事後:知的障害特別支援学校の教育についてまとめる(60)		
第7回 障害の理解と支援(4)言語障害、重複障害			事前:言語障害について調べる(30) 事後:言語障害特別支援学級の教育と医療的ケアについてまとめる(80)		
第8回 障害の理解と支援(5)自閉症、情緒障害			事前:自閉症について調べる(30) 事後:自閉症スペクトラムへの対応についてまとめる(60)		
第9回 障害の理解と支援(6)LD、ADHD			事前:LD、ADHDについて調べる(30) 事後:LD、ADHDへの対応についてまとめる(60)		
第10回 通級による指導及び自立活動			事前:自立活動について調べる(30) 事後:通級指導教室の教育についてまとめる(60)		
第11回 特別な教育的ニーズのある幼児、児童及び生徒の実態把握			事前:国の調査について調べる(40) 事後:小・中学校、高等学校における対応についてまとめる(60)		
第12回 個別の指導計画及び個別の教育支援計画と指導方法			事前:IEPについて調べる(30) 事後:個別の指導計画、個別の教育支援計画と指導の関係をまとめる(60)		
第13回 特別な支援が必要な障害のない幼児児童生徒			事前:障害の定義について再確認する(30) 事後:事例を通して支援の在り方についてまとめる(60)		
第14回 福祉、医療、労働との連携			事前:障害者手帳について調べる(30) 事後:医療、労働との連携についてまとめる(60)		
第15回 まとめ			事前:講義資料を通読する(60) 事後:講義の要点をまとめる(60)		
履修に必要な予備知識や技能:新聞やテレビを通して伝えられる特別支援教育に関する内容について関心を持ち、分からないことがあればすぐに調べる。					
課題に対してのフィードバック:課題レポート実施の翌週に振り返りを行う。					
評価方法・基準:定期試験 60% レポート 20% 受講態度(授業への参加度)20%					
教科書:教科書:①特別支援教育―共生社会の実現に向けて― 小林秀之/米田宏樹/安藤隆男編著 ミネルヴァ書房②特別支援学校幼稚部教育要領 小学部・中学部学習指導要領 文部科学省					
参考書:特別支援学校教育要領・学習指導要領解説(自立活動編)文部科学省					
備考:適宜グループワークを実施する。					
実務経験の内容・期間:小学校特別支援学級教員1年 家庭児童相談室家庭相談員6年 児童相談所児童心理司16年(心理判定係長15年) 児童相談所担当所長2年 臨床心理士20年 公認心理師4年					